

異形線加工で高付加価値

PR

線材加工機は金属の線材を塑性加工し、任意の形状に仕上げる。加工された素材は自動車や建築・土木、工作機械、医療など幅広い分野で部品、資材として活用されている。大きさ、形状、素材の種類も千差万別で、用途によっては複雑な加工が求められることも多い。

自動車業界は主要な用途の一つで、エンジンや駆動系、足回り部品などに線材加工部品が用いられる。日本自動車販売協会連合会（自販連）と全国軽自動車協会連合会（全軽自協）によると、2025年の新車販売台数は前年比3・3%増の456万5777台となった。認証不正の反動増や新型の発売などが要因とみられる。しかしオランダの半導体メーカーによる供給問題などが影響し、先行きは不確かな状況が続くそう。

自動車の販売動向のうち線材市場にからむ部分に着目すると、中国やインドなど自動車需要が大きい国では現地生産が進展。線材の価格競争が激しく、製造コストが安い現地鋼材の採用が進んでいる。一方で、ハイブリ

線材加工機と関連製品

有力企業の製品・技術

アサヒ精機鉄工

アサヒ精機鉄工は1971年創業の線材加工機メーカー。約半世紀の歴史で培った技術を生かし高精度、高速加工、高い直線度を誇る線材加工機を開発している。

線材用冷間圧延ロール機や各種伸線機の設計・製作に加え、既存の圧延機、伸線機の性能を大幅にアップさせる改造も行っている。高精度を実現する測定制御機器も充実。

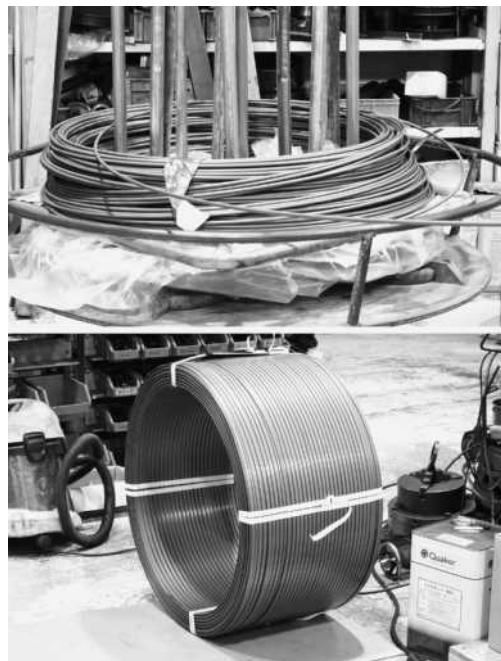
「アサヒミルコントローラーAMCシリーズ」は製造線材の幅、厚みを正確に管理・制御し、高速圧延工程の連続管理を可能にする。

精度・技術力で海外と差別化

自動車（HV）や電気自動車（EV）の開発が国内外で進み、着実に販売台数を増やしている。HVやEVは従来のガソリン車に比べて線材使用量の原単位が少なくなる。ただ、自動車の高性能化はますます進んでおり、高強度かつ軽量の線材は依然として需要が高まっている。このため、加工部品は低コスト化と高機能・高品質の二極化が進むとみられる。

こうした状況の中、線材市場は海外輸入の割合が多くなっているが、高強度・高品質な異形線加工用の加工機を提案。精度と技術力で海外の加工機との差別化を図る。あるメーカーは素材や線径・幅などを顧客の要望に合わせたオーダーメイドの圧延ロール機を展開している。異形線加工は断面に溝をつけた圧延ロールに線材を通し、圧延することです。特殊な形状に加工する方法。効率的に任意の形状に加工できるたい。このため、加工部材を生産できる。

線材市場は海外輸入の割合が多くなっているが、高強度・高品質な線材加工部品の需要はこれから続くだろう。変化し続ける産業社会の中で、ニーズに寄り添い続ける加工メーカー各社の果たす役割は大きい。



自動車や建設などさまざまな分野で活用される線材（アサヒ精機鉄工提供）

機械 2D・3D 設計者募集中

線材用圧延機の トップブランド

4タンデム圧延ロール機

速度 200m/分
振れ精度 厚み±0.005 幅±0.05
蛇行1mで5mm以内
加工寸法 10mm幅×0.2mm厚

5タンデム異形線圧延機

速度 100m/分
振れ精度 ±1ミクロン以下
加工寸法 0.1mm角×0.3mm角

製造品目 冷間圧延ロール機・各種伸線機・各種産業機械・設計製作



アサヒ精機鉄工株式会社

第一工場 〒578-0901 大阪府東大阪市加納4-13-9 電話 072-968-0101 FAX 072-968-0102

第二工場 〒578-0901 大阪府東大阪市加納6-7-47 電話 072-889-1501 FAX 072-889-1502

ホームページ <http://www.astkk.co.jp> メールアドレス office@astkk.co.jp